

Before 使用前

TOYO



TOYO UNIVERSITY
ALUMNI ASSOCIATION
KAGOSHIMA 2010

創立91年目



東洋大学校友会 鹿児島県支部

平成22年度版 支部会報

5

Vol.

豪華3大企画



写真は語る

思い出写真館



クロスアップ
校友会員 波瀾万丈

上の写真も含め支部総会案内ハガキ・新年会等での告知に応募いただいた校友の写真を掲載しています。

After 使用后



100周年目指し 新たなる地平へ…

新役員体制が発足しました。鹿児島県支部は 100周年を目指し、新たなる地平へ飛躍します。



鹿児島県支部長
松下 健一

新卒の二十代会員から百歳代の大先輩の方々まで…

校友会員の皆様におかれましては益々、御健勝で御活躍のこととお慶び申し上げます。去る9月4日に開催されました鹿児島県支部総会において、岩城前支部長の後任として、第8代支部長という大任を仰せつかり、その責任の重大さを痛感し、身の引き締まる思いでいっぱいです。

もとより浅学非才の身ではございますが、創立91年という全国でも屈指の永い伝統のある組織の支部長に就任することは身に余る光栄であります。校友会活動の伝統を継承し、未来に向かって現代に適応した支部活動の活性化を進め、その発展に努力して行きたいと考えております。支部会員の皆様の絶大なるご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

校友会の目的は会則にありますように「東洋大学建学の精神を顕現し、会員相互の親睦を図り東洋大学の興隆発展に寄与すること」とあります。「新卒の二十代会員から百歳代の大先輩の方々まで多数の世代を超えていかにして交流することができるか。」「参加してよかったと思ってもらえる会にするには具体的にいかに努力するべきか。」「母校愛を具現化できるものを発見できないか。」以上が現在、私が自問していることです。

支部の発展は一人でも多くの会員の皆様に参加して頂くことにより、交流が広がり大きく飛躍できると確信しております。今後とも、御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

支部長就任の挨拶



前 鹿児島県支部長
岩城 健

校友のみなさんの協力に支えられて

支部創設から今年で91年目を迎え輝かしい歴史を誇る鹿児島県支部、この伝統ある支部を皆様からの推挙をいただき第7代支部長として、500余名の校友諸氏の先頭に立って3年間支部長を務めさせていただきました。

停滞ぎみの支部活動を活性化することは勿論の事、校友会本部事務局や甫水会との密な連携、支部で行う数々の催事を全国に発信するブログの活用と、校友会報への掲載などを積極的に行ない支部の士気高揚に日々努めて参りました。

在任中に記念すべき90周年をむかえ、駅伝部の佐藤コーチによる記念講演会の開催をはじめ、支部の情報発信としての支部会報は画期的な企画と編集で見せる会報として、一躍全国からの注目、鹿児島県支部の存在が大きくクローズアップされ脚光を浴びるに至りました。このように注目される中で鹿児島県支部が9年後に迎える100周年に向かって大きく飛躍することを願わずにはられません。

支部長としてわずか3年間の短い期間ではありましたが、私に賜りました数々のご厚情とご支援に対し心から感謝とお礼を申し上げます。

支部長退任の挨拶



鹿児島県支部・甫水会合同

2011年1月15日(土) 新年会を行います。詳細は9ページをご覧ください。➡

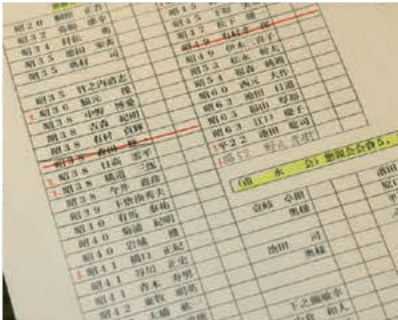
兼 籍根駅伝祝勝会?



準備が整いました
17:00~
受付開始



残暑厳しい…
9月4日
14:00~
ポチポチ準備開始



写真は語る~ 第91回 支部総会

平成22年度 支部総会・懇親会 9月4日 17:00~ 敬天閣にて開催



暑い…





平瀬さんの三味線で

懇親会 スタート

まずは乾杯!!



そろそろ
行ってみよ〜か〜!
**じゃんけん
ゲーム**





野村インストラクター

ヨガ体操

お酒でふやけた頭と
体を元に戻す・・・?



岩城前支部長
退任挨拶
3年間、ほんとお疲れさまでした。



閉会の挨拶



アナタも交流の輪を広げませんか?

- ① 卒業後ずっと会報は封筒に入ったままでゴミ箱直行だった...
- ② ほとんど会費を払ったことが無い...
- ③ まだ一度も参加したことが無い、今更行ってもなあと不安...
- ④ 先輩・後輩の上下関係とか堅苦しそう...
- ⑤ 二部・通信過程に通っていたので...
- ⑥ 子供が東洋大に通っていたけど、卒業してしまって...

→ そんな心配は無用です。毎年9月支部総会 毎年1月新年会 お気軽にご参加ください。

写真をご覧いただいております。東洋大学校友会・鹿児島県支部総会は「楽しい集まりの場・新たな出会いの場」です。これをキッカケに新たにお友達を増やしたり、異業種交流の場としてご自由に利用してください。もしかしたらアナタより年配者が多いかも知れませんが、先輩・後輩等の厳しい上下関係など一切ありません。遠慮せずにどどん話しかけてみてください。みんな見かけと違い心の中は「素直にバカになれた大学時代」の頃と同様の気持ちで参加しています。みんなで集まって楽しい時間を過ごしましょう。

支部総会は毎年9月第一土曜日、新年会は毎年1月中旬に開催。支部事務局までご連絡ください。
☎090-4358-1947 (事務局・西村) ☎080-4174-7680 (事務局・西元)

参加者大募集

平成23年 校友会 合同 新年会を1月15日(土)に開催!

場所 かごしま敬天閣 ☎099-225-2505 〒892-0853 鹿児島市城山町5-24
時間 18:00～ 会費 5,000円 (差し入れ大歓迎)

併せて、箱根駅伝「三連覇」祝勝会
若しくは 残念会 を行います。

尚、新年会は往復ハガキでの案内は致しませんので、ご出席の方のみ電話で下記まで1月10日迄にご連絡ください。

☎090-4358-1947 (西村)
☎080-4174-7680 (西元)
☎080-3188-4884 (松永)

当日は箱根駅伝のビデオ上映も予定しております。



ビデオ上映で駅伝優勝シーンに沸き立つ支部会員(三連覇祝勝会・平成22年1月30日)



箱根駅伝 祝勝会を開催、おおいに盛り上がる。

平成22年1月30日(土) かごしま敬天閣

鹿児島県支部は東洋大学陸上競技部の箱根駅伝2連覇の優勝を祝って1月30日(土)に校友30余名が参加して祝勝会を開催しました。会場にはビデオが準備され、箱根駅伝2連覇の勝利の瞬間のゴールシーンが再現される

と校友全員から歓喜の声が会場に響きわたり、おおいに盛り上がりました。尚、この時に全員の校友から陸上競技部にカンパが寄せられました。そして翌月2月、佐藤コーチが来鹿された機会に祝い金としてお渡ししました。



1月13日に急遽往復ハガキを出して30名参加。なかなかの結束力です。



①祝勝会に参加した校友 ②沖永良部の校友も祝勝会開催 ③ビデオ上映での優勝ゴールの瞬間にエキサイトする校友 ④万歳三唱…これで終わる訳もなく…その後は二次会へ… ⑤2月に来鹿した佐藤コーチ。祝い金を受け取って頂きました。

新役員より挨拶

副支部長・代議員
西村 正一郎 昭和44年 文学部卒



この度、鹿児島県支部総会において副支部長・代議員という大任を仰せつかり責任の重さを感じています。

副支部長・会計
松永 幹太 昭和53年 経済学部卒



この度、9月から副支部長に就任することになりました。引き続きこれまで以上にどうぞ宜しくお願いいたします。

副支部長・レイディース会
野村 涼子 昭和45年 観光学部卒



この度、副支部長の任を受けることになりました。責任の重さを感じています。ご存知の方もおられると思いますが、現状といたしましては多忙の身です。

幹事長
西元 大作 昭和60年 法学部卒



この度、9月から副支部長に就任することになりました。引き続きこれまで以上にどうぞ宜しくお願いいたします。

幹事長とは何をやるのか? 内容がよく分からないまま、その任を受けることになりました。宜しくお願いいたします。



元 浦水会の人に聞きました。

竹迫温泉 平瀬 葉子さん

9月4日の支部総会で和服に三味線姿の女性が記憶に残っている支部会員の方は多いと思います。そして11月22日の南日本新聞の朝刊第二面に「かお」で掲載され、ますますその存在が気になった方も多いでしょう。編集部では巷で話題になっておられる平瀬葉子さんにお話を伺いました。

○東洋大学との関わりについて

編集部 平瀬さんは息子さんで東洋大学に入学～卒業、父兄会である浦水会の方から校友会に参加されるようになったのですが、まず東洋大とのかわりを教えてくださいませんか。

平瀬 東洋大学へ行ったのは私の次男です。鹿児島玉龍高校から東洋大学へ進学させていただきました。次男は高校時代にバレーボールをやっていたので、その時の監督と当時東洋大のバレー部の監督だった山本さんがバレーつながりということで縁がありまして、東洋大学に進みました。それで、鹿児島に東洋大学の父兄会があるということで参加したわけです。

編集部 それが浦水会ですね。

平瀬 そうです。浦水会に誘われて何回か出席させていただきました。いろんな方が参加され、とても楽しい会だと思います。私はこれまで3人の子供を大学に出してきましたが、父兄会に関しては懇親会での交流を親切に働きかけられたのは東洋大学だけでした。

ちょっと話が逸れますが、私の両親は箱根駅伝ファンだったので。孫が東洋大学に入ったということで、応援出来るチームが出来、大喜びでした。今は娘の進学先の大学を応援するべきか、東洋大学を応援するべきか…その狭間で悩んでいるようです(笑)。

○子供が卒業しても校友会に参加

平瀬 何年目の時に浦水会と校友会の合同の会があった時のこと。私が「息子が卒業したら寂しくなるわ…」と言ったら「校友会は親が代理で来ている人もいるよ」と言われました。中村さんが行かれているみたいでしたので、私も行ってみようかなと思って、校友会に出席させていただきました。

編集部 校友会は如何ですか?

平瀬 校友会の集まりではとても温かく迎えられております。毎回思うのですが、ヨガやゲームがあったりとても楽しいです。いろんな業種の方と出会えるのもいいですね。今後とも関わりたいと思っています。

○和服、津軽三味線

編集部 平瀬さんといえば、すらりとした和服姿、今回は津軽三味線と、かなりインパクトがあります。

平瀬 そうでしたか。津軽三味線は大人になってから始めました。実は来年6月に市民文化ホールで、私達がやっている加藤流津軽三味線の百人弾きを計画しているのですが、その宣伝をかねて演らせて貰えませんか?とお願いしたら、是非演じて欲しいということで、披露させていただきました。

編集部 失礼ですが、三味線のレベルとかは?

平瀬 名取りの上位になる準師範です。

編集部 そうなんですか! それから和服を着るといのは、何かポリシーがおありなのですか。

平瀬 きものは好きですね。母が呉服屋の娘でしたのでとても影響されました。それに私は背が高いものですが、洋服だと合うサイズが少ないのです。その点、きものは背が高くても合わせられるのでとても便利。

キッカケが無いとなかなか着る機会が無い着物ですが、校友会はちょうど良いキッカケです。ただ、ヨガをするにはちょっと不便ですが…。

編集部 和服と洋服で、イメージのギャップが大きいと両方目撃した人はみんな言っていますが…。

平瀬 同一人物だと分からない人も多そうです。洋服のときはメガネをかけていますし、和服だと髪を上げてメガネはかけていませんから…。

○南日本新聞に掲載

編集部 話は変わりますが、南日本新聞の11月22日の朝刊に掲載されましたね。

平瀬 鹿児島の浴場組合の活性化～まちおこし事業の一環で、今年は「銭湯に行こう」という歌のCDを健康体操も付けて作ったのです。



南日本新聞の朝刊第二面「かお」 11月22日付

これをきっかけに温泉銭湯の活性化につながるのではないかと浴場組合に提案し、話とほとんど拍子で進みました。県庁で記者会見をしたのですが、その時に南日本新聞の記者の方から取材したいという打診がありました。個人的には頑に拒んだのですが、浴場組合からも宣伝になるということで出ました。これで、年もバレ、顔もバレ…。

編集部 平瀬さんで年齢不詳だったんですよ(笑)。

平瀬 年齢不詳が私の売りだったのに残念です。

○普段のお仕事などは?

編集部 普段は、どんなことを?

平瀬 まず家業の竹迫温泉の仕事をやらないといけません。うちは創業118年で建物も古いのですが、お湯は良いんです。鹿児島でも数少ないかけ流し温泉です。

私としてはこの温泉をなんとか守っていきたいのですが、商売として見た場合、割が合わないのです。世間ではお湯が自然に溢れていると思うのですが、維持管理していくのは大変です。それと自分の仕事である管理薬剤師をしています。ここ最近の趣味は週一のヨガと津軽三味線といったところです。ゴルフもしていましたが、今はお休みしています。

編集部 お仕事にいろんな活動にお忙しいでしょうが、校友会の方もよろしくお祈りします。

平瀬 こちらこそ宜しくお願いします。

校友会での出会で完成した銭湯マップ



鹿児島ケンミンの食彩 校友会本部会報に掲載されました。

11月1日発行の校友会本部会報に鹿児島県支部の「ケンミンの食彩」が掲載されました。16～17ページの見開きでどっか～んと「食」に携わる支部校友の営業活動を全国の校友にPRが出来たと思います。

思えば、今年の夏、校友の取材は薩摩庵に始まり、頼娃、加世田、吹上と土・日の都度地図を見ながら車を走らせた日々でした。土砂降りの雨の中迷いながら辿

り着いた頼娃の佐多宗二商店、桐原さんご本人を鹿児島市内から乗せて工場までの道案内をいただいた桐原醸造など、思い出が沢山出来ました。そして、訪問先では何処でも親切なおもてなしを受け、仕事における校友の新たな一面を知ることになりました。これが全国の校友の目に触れ、鹿児島の魅力を知るキッカケになれば幸いです。取材にご協力ありがとうございました。

あの頃の私があったから、今がある。

皆さんは、支部総会等に参加された時に、隣の椅子に座っている校友が東洋大現役学生の頃にどんな姿や顔かたち、どんなことに熱中していたかご存知でしょうか？

編集部では、多くの校友がお互いの学生の頃を知らないで交流されておられるのではないかと考えました。ましてや世代が離れればそんな過去のことは知る由もありません。

多くの校友が卒業後の長い間にシワが増え、頭が薄くなり、腹が出てきたりしています。貧乏だけ情熱だけはあって、何だか格好が良かったあの頃とはすっかり違ってきています。

もちろん年を重ねることによって磨きがかかり、スキルや人間性が深まります。経済的にも豊かになり、人生の知恵が沢山ついてきます。シワが増えることは悪いことではありません。

ただ、一つだけ確かなのは「あの頃があったから今の交流がある」ということです。

編集部では、支部会報で校友をもっと知ってもらう手助けになれば…と常々考えています。そこでこの企画を立てて掲載することにいたしました。写真の募集は昨年の支部総会や新年会で告知してきました。それで写真を寄せて下さった方々の写真をここに掲載します。今まで以上の交流に役立っていただければ幸いです。皆様の写真提出のご協力に感謝します。



奥村 司 会員

(昭和35年 文学部卒)
①三年生の時 ②下宿屋の室内で
③吹奏楽部(学園祭で)



有村 貞輝 会員

(昭和38年 経済部卒)
①下宿屋でウクレレを弾く。当時はベンチャーズがブームだった。その影響で楽器を弾くように…
②大学入学時 ③卒業前におふざけ



中野 博愛 会員

(昭和38年 経済部卒)
①創立72周年 学園祭で神輿を担いだ後で
②大学卒業時



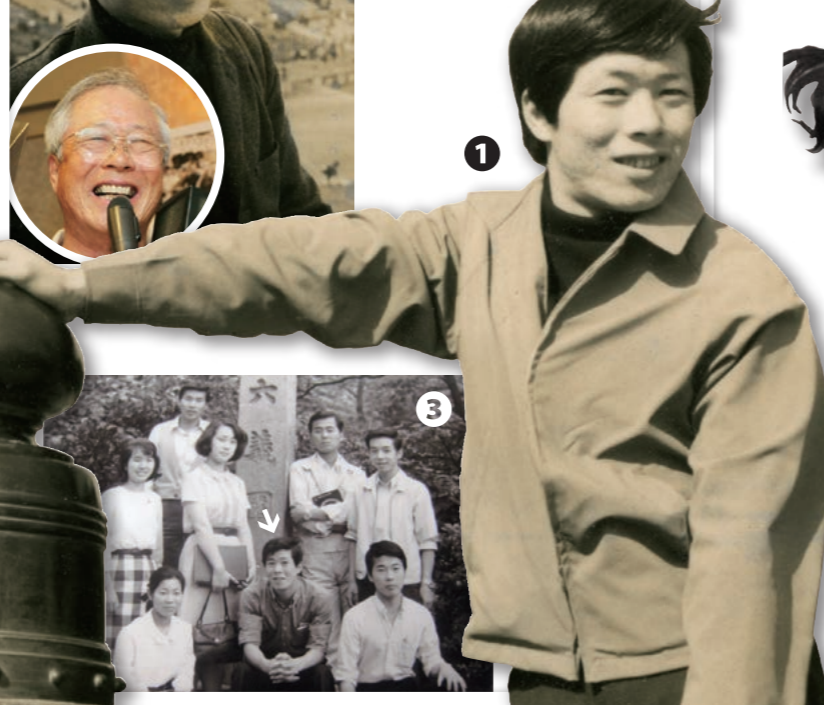
岩城 健 会員

(昭和40年 経済学部卒)
①大学入学当時 ②仲間と豊島園で
③慣れないスケートで抱きつかれる



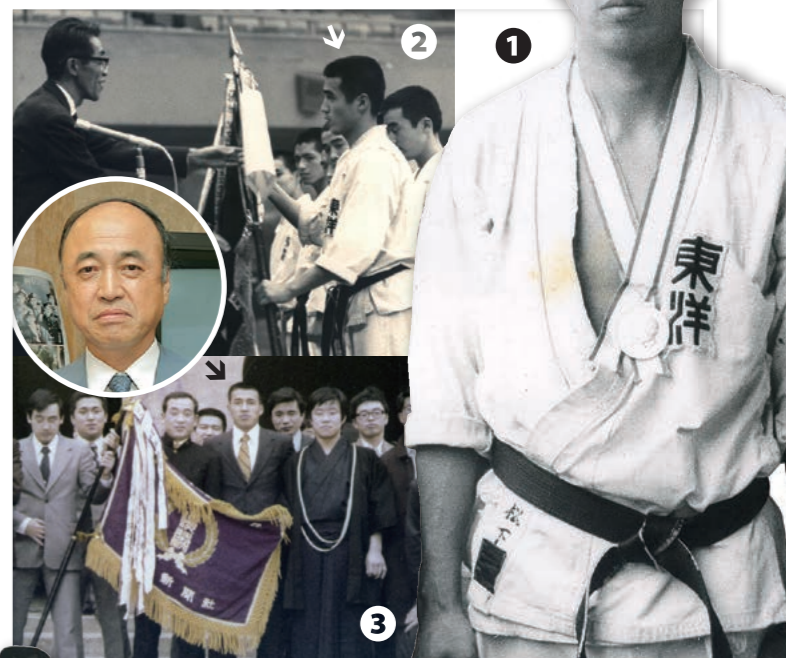
西村 正一郎 会員

(昭和44年 文学部卒)
①19才時 鎌倉にて(撮影は奥様)
②後楽園球場にて大学の応援
③六義園で学友と



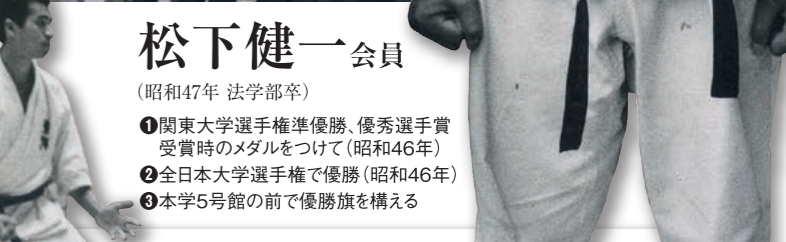
野村 涼子 会員

(昭和45年 観光学部卒)
①ピクニックにてポーズを決める
②卒業時、学友と制服を着て
③入学当時



松下 健一 会員

(昭和47年 法学部卒)
①関東大学選手権準優勝、優秀選手賞受賞時のメダルをつけて(昭和46年)
②全日本大学選手権で優勝(昭和46年)
③本学5号館の前で優勝旗を構える

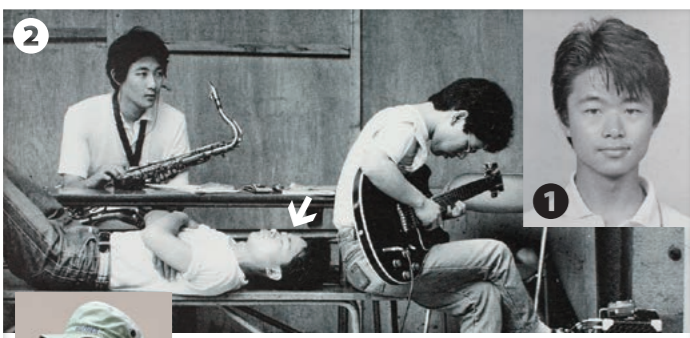




松永幹太会員

(昭和53年 経済学部卒)

- ①卒業前に長野でスキー
- ②4年間住んだ板橋のアパートの前で
- ③皇居バレスサイクリング



西元大作会員

(昭和60年 法学部卒)

- ①卒業アルバムより
- ②サークル(軽音ジャズ・サニー)サークルの溜まり場で昼寝している所を撮影される。



藤原哲志会員

(昭和63年 法学部卒)

- ①卒業アルバムより
- ②サークル(メディアプロジェクト)卒業アルバム用に記念撮影

平成22年度 鹿児島県支部会報
特別企画 **思い出写真館**
あの頃の私があったから、今がある。



時任雅彦会員

(昭和60年 経済学部卒)

- ①ゼミの仲間と飲み会
- ②バンド活動～学園祭ライブ～
- ③手前ではなく奥のギタリスト
- ④卒業アルバムより



池田日道会員

(昭和63年 観光学部卒)

- ①バイクツーリング先で夕日を浴びる
- ②バイクでの旅先で



東洋大学鹿児島県支部 発掘ザ校友

「発掘ザ校友」は現役バリバリで活躍している鹿児島県出身の若手校友を発掘し、皆さんに紹介するものです。その第二弾は「爽やか笑顔が似合う」後輩の池田聡司君です。池田君は今年3月に東洋大学を卒業し、鹿児島相互信用金庫にお勤めされています。支部の総会に積極的に参加されるなど、今後が期待出来る校友として注目されています。

高校時代に西村副支部長に日本史を学ぶ。

編集部 今、年齢は幾つなの？

池田 はい、23才です。昭和62年生まれです。

編集部 (溜息混じり)若いね～！…さて本論に入るけど、池田くんは鹿児島高校出身ということで、西村副支部長の教え子だったとか。その頃の思い出を話してください。

池田 恩師の西村先生には日本史を教わっていました。もともと歴史は好きだったのですが、先生に教わるようになってから日本史がより一層好きになりました。当時、先生の授業は教科書が要らないというか、教科書に太文字で書いてあることよりも、端に載っている小さな事等について実に面白く教えて下さるのです。ホントに熱くて面白い授業でした。

編集部 東洋大を志望した動機等は？

池田 親の影響がもたせませんが、当時から観光というものにかなり興味があったのです。それで大学は何処に行こうか迷っていました。それで西村先生が進路相談で一番人気のある先生でしたので、相談してみたところ東洋大学の国際観光学科を薦められました。

編集部 実際に東洋大学に行ってみてどうでしたか？

池田 大学に勉強をしに行くのは当然のことなのですが、やはり首都東京に行くんだという華やかな期待もかなりあったのです。しかし、実際に学部のある所は群馬県板倉です。鹿児島のそれも郡山から、東京に憧れてはるばる上京したのに、何故、群馬県板倉なの？という失望が大きかったです。別に群馬県が嫌いという訳じゃないのです。だから、3年の終わりに学部が第二白山校舎に移転するという知らせがあったときは学生みんな小躍りして喜びましたね。

編集部 校舎移転という事でまた引っ越しとかあって大変だったのでは？

池田 実は僕は東京と群馬の間の埼玉に部屋を借りしていました。東京に行きたいという気持ちが強かったのが…。

編集部 第二白山校舎ってどんな感じでしたか？

池田 なんていうか高校のような感じでしたね。狭い。でも、東京のご真ん中ということで気持ちは良かったですね。小石川植物園等が近くにあって仲間と昼食を食べにいったりと楽しい思い出が沢山ありました。

編集部 白山本校舎には行ったことがありますか？

池田 勿論です！東洋大って白山本校舎のイメージが一番ありましたからね。用も無いのに結構遊びに行きましたよ。

編集部 そうですか、学生ライフをエンジョイされたようですね？さて、肝心な学問の話ですが、国際観光学科という「航空関連やホテル関連」というイメージがありますが、実際にはどんなことを教わったのですか？

池田僕は国際観光学科で三つのコースを選択しました。地域振興、街の活性化、旅行代理業などを学びました。「航空関連やホテル関連」ではなかったのです。でもこれらの授業自体はとても面白くてのめり込みましたね。僕は人がどうやったら動くのか、集まるのか、興味を持つのか？また自分が面白かったことを人に伝えたいけど、どうやったら興味を持ってもらえるのか…そういうことを考えるのがとても好きだったんです。だから学校の授業はとても面白いものでした。

編集部 具体的にはどういったことを習ったのですか？

池田 そうですね。習ったことの一例でG県にあるある温泉(K温泉)のことがありました。K温泉街はA銀行の経営が破綻したことが発端となり、連鎖的に温泉街のホテル等が破綻していったことがあったのです。しかし、その後地元の人達の努力があって、再びK温泉街は息を吹き返しました。実際にあった一連の出来事を通して「地域振興、街の活性化とは何か？」を学ぶことが出来ました。僕はそれから、いろんな観光地に行つては、学んだことを頭の片隅に入れないながら、いろんな施設を見るようになりました。

「校友」のニューフェイスを紹介

いけだ そうし
鹿児島相互信用金庫 **池田 聡司** さん

鹿児島県鹿児島市出身・東洋大学 国際地域学部 国際観光学科卒 (H22)



愛称 / ソウシ
血液型 / A型
趣味 / ドライブ車を買えばかり
音楽鑑賞(ジャズ)

編集部 とても大切なことを学びましたね。でも、そこまで学んでいながら何故、畑違いの銀行に就職したのですか？

池田 「まさか…」の採用でしたが(笑)。志望する前はいろいろ悩んだのです。実際に面接の時にも「何故？」と尋ねられました。僕が思ったのは、地域振興、街の活性化へ貢献するにしろ「お金の動きを知ることの重要性」でした。それで金融業界で働きながら学ぼうと思いました。もちろん、大学で学んだことはこれからも僕の柱になっていくことでしょう。

編集部 で、実際には銀行で何をしていますの？

池田 今は城北支店で自分のエリアをバイクで駆け回っています。エリア内には野村先輩や西元先輩宅があります。

編集部 最後になりましたが、池田くんは校友会には2度出席しますが、校友会を知るキッカケは何だったのですか？

池田 西村先生です。僕が社会人になった頃に「校友会は30才以上も年上の先輩の方々がいる。これからの君の人生で人間の輪を広げていく貴重な出会いの場になると思う。金融機関に勤めるキミには、いろんな企業の経営者の方々との貴重な出会いの場になると思うよ。」と薦められました。実際に行ってみると、イメージの通り30～40才も年上の先輩の方々が多くいらしてました。でも、そんな先輩達に昔の話等を聴くのはとても面白かったです。僕も先輩方に自分の話、つまり新しいことを教えたりするのが面白かったですし。

また、嬉しいことに校友会には野村先輩や池田日道先輩など観光学科の先輩がおられました。池田日道先輩はゼミも教授も同じなんです。在学時から鹿児島の先輩ということでお名前だけは聞いていたんですが、今年9月の支部総会で初めてお会いして、それはとても盛り上がりました。

編集部 そうですか？それは良かったです。では、次回も来てくれるかな～？

池田 いいとも～！(笑)。是非参加したいです。

「発掘ザ校友」ではみなさんからのイキの良い情報を募集いたします。事務補佐・西元までご連絡ください。E-mail: deesaku@mac.com 携帯メール可



発行 / 東洋大学校友会鹿児島県支部 平成22年12月吉日
事務局 / 西元大作
〒890-0012 鹿児島市玉里町6-10-402 Tel.080-4174-7680
○編集 / 岩城 健、西元 大作、西村 正一郎

編集後記

支部会報制作が終わり、やっとなを越せそうな気がしてきました。今年は世間では南や北での領土問題、機密情報の漏洩、北朝鮮の韓国領土砲撃と危なっかしいニュースがいろいろとありまして、正に波瀾万丈、ヒヤヒヤな年でありました。校友の皆様にとってはどんな一年だったのでしょうか？新しい年が平和な年でありませう心から願うばかりです。

さて、右にある写真にある風景は皆さん何だと思いますか？校友の3人での飲み会の写真？…それは正しいです。が、ただの飲み会ではありません。これは支部会報に掲載する写真を選定している風景なのです。編集部ではノートパソコンを居居屋に持ち込んで写真を入念に選んでいるのです。掲載漏れが無いようにチェックを入れています。こうやって写真を厳選し、後に出来上がった写真やレイアウトを確認し、再度漏れが



無い？確認しています。人によっては重複している場合がありますが、これは致し方ありません。こうやって皆さんが参加された集まりが、後になって楽しい思い出になることを期待しつつ制作にあっています。では、来年の1月15日の新年会でお会い出来る日を楽しみにしております。良いお年を！

波瀾万丈

シリーズ企画「クロスアップ校友会員 第三弾」

シリーズ企画「クロスアップ 波瀾万丈 第三弾」校友と交友を温めて新しきを知る

企画 東洋大学校友会
制作 鹿児島県支部 編集部

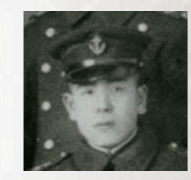
波瀾万丈

青春を戦争に捧げ 家族が皆空襲で逝く 絶望の淵からの再興

クロスアップ・桐原正吾会員

インタビュー 岩城 健 / 文章 春野 洋治郎 / 写真デザイン 西元 大作

戦後65年の歳月が流れ、戦争を自ら体験し語れる世代が少なくなっています。今回お伺いした桐原さんは、太平洋戦争末期、戦局が悪化する時代に東洋大学へ進学され、学徒出陣で海軍に入隊、そして特別攻撃隊「人間魚雷「回天」」での訓練を受け、国のために命を捧げる覚悟までなさいました。しかし、鹿児島大空襲によってご家族が一瞬に全滅、遂に終戦を迎えます。自らの命はとりとめたものの、家族や家を失うという堪え難い絶望の淵から、裸一貫で「桐原正吾醸造店」を立ち上げ、平成になってからは鹿児島県味噌醤油工業協同組合の理事長をお務めになりました。大先輩桐原さんの粉骨砕身・波瀾万丈の人生を語っていただきました。



桐原正吾
特技/柔道(柔道5段) 趣味/随筆・社交ダンス

- #### プロフィール
- 大正14年 鹿児島市堀江町に生まれる
 - 昭和18年 東洋大学経国科(専経国科)入学
 - 昭和19年 学徒出陣~海軍入隊
 - 20年 海軍特別攻撃隊に配属
鹿児島大空襲~終戦~卒業
 - 22年 旧 加世田市万世で桐原醸造店創業
 - 25年 妻 照代と結婚 6畳一間で伯父夫婦と暮す
 - 32年 有限会社桐原商店と店を法人化
 - 35年 新居兼桐原醸造直売店を加世田市に構える
 - 36年 加世田商工会議所発足 議員就任
後に副会頭を経て、現在は特別顧問
 - 61年 鹿児島県味噌醤油組合 理事就任
 - 平成 4年 同組合理事長就任
 - 16年 同組合員として後進指導にあたり現在に至る



キカントレ時代

岩城 幼少期をお聞かせください。
桐原 父が堀江町で味噌・醤油の製造販売を営んでおりましたので、いつも、ボサドあたりは格好の遊び場でした。当時はキカントレもキカントレで勉強は殆どしなかったですね。喧嘩や悪さはかりしてました。
岩城 わんぱくだったんですね。それで、鹿児島商業高校から東洋大学へ進まれたのですが、志望の動機は何だったのですか。
桐原 昭和17年くらいまで戦局はまだ日本に有利でしたが、翌年あたりから形勢が逆転していきます。軍隊に入つて、革靴をはくのが格好良かった時代です。父親は、大学に行けば軍隊に入らなくて済むと思っていたようです。私は、軍隊に行けば、ほたい死ぬばかいらいと、どこかさめたところがありません。本当の志望動機は、崇拝していた鹿児島島の教育の部長さんが東洋大学にいらつたからです。



学徒出陣で神宮外苑を行軍

岩城 大学時代の思い出をお聞かせください。
桐原 はい。祖国に命を捧げる覚悟はできていたわけですか。

桐原 昭和17年12月に鹿児島商業高校を卒業して、翌年の3月に東洋大学へ入学しました。学部は経国科(専経国科)現在は無いです。国家総動員体制で勉強どころではないです。私は大川周明の学生寮に入っていました。食べるものには不自由なものでしたが、朝3時半に起床し、訓練、日中は軍需工場で勤務奉仕の日々でした。ですから、大学の授業は友だちに代返してもらつたりで、勉強らしい勉強は出来ませんでした。大学には1~2年在籍しただけです。戦後、卒業証書はちゃんといただいたんですが、あの当時、戦局が悪化し、軍隊に入ることになりました。
岩城 詳しくお聞かせください。
桐原 学徒出陣です。昭和19年8月から海軍予備生として入隊しました。今でも太平洋戦争があつた映画やドキュメンタリーの中に、明治神宮外苑を雨中に行軍する学徒出陣の映像が流れますが、実は行進している学生の中の一人が私なのです。
岩城 やはり任地を転々とされたわけですか。
桐原 海軍予備生として三重の航空隊に入隊しましたが、練習機が無いということで中国の旅順へ派遣されました。旅順で見習士官としての教育を受け、内地へ帰つてきました。昭和20年春のことです。それから終戦まで、長崎県の川棚では「震洋」、山口県平生では「回天」、横須賀で「海童」と特攻隊員として訓練を受けました。特攻訓練は国家機密ですから、移動するにも汽車の窓にはカーテンがかけられていて、どこに連れて行かれるのかさえわかりませんでした。
岩城 特攻隊員だったら、当然死を覚悟されてはいたわけですか。
桐原 はい。祖国に命を捧げる覚悟はできていたわけですか。

ていしましたが、私より先に家族全員が空襲で全滅するという悲劇を味わいました。
岩城 昭和20年6月の鹿児島大空襲ですね。
桐原 私はその時、山口県の平生で人間魚雷「回天」の訓練を受けていて、鹿児島市の伯父から「鹿児島大空襲で一家全滅、遺体確認」という連絡が入りました。ただちに外出許可をもらつて西鹿児島駅に降り立つと、市内は二面焼け野原で錦江湾まで見渡せました。目の前に広がるのは焦土と化したふるさとの無残な姿でした。堀江町に住んでいた父母、兄弟、姉妹の家族全員を二度に失い、家も焼け落ち、茫然と立ちすくむ私の視線の先には桜島が浮かんでいました。
忘れられない母の愛情
岩城 お亡くなりになったご家族のことで思い出がごありますか。
桐原 父は厳しい人で、悪いことをすると、こんこんと説教する人でした。味噌・醤油の製造販売に加えて麻袋を扱うなど、商売に関して非常に研究熱心でした。私の実の母は小さい頃に亡くなり、育ててくれたのは継母だったので、軍隊時代転属先を追いかけるように、その継母から手紙がよく届きました。(次項右上参照)
手紙に記された継母のやさしい心づかいと深い愛情に、私はどれだけ元気づけられたかわかりません。継母もあの空襲で亡くなつてしまいましたが、私の手元には、数え切れないほどの手紙が宝物として今も残っています。
岩城 いやあ、すごくいいお話ですね。
桐原 後で聞いて知ったことですが、継母が家に来た頃は嫁入り道具を水浸しにするなど、ずいぶんひどいことをしたらしいのです。新しい母親になじめなかつたので、う。しかし、継母は腹がいがいであつても、



桐原さんのアルバムより
①正吾11才(矢印)の時 家族で記念写真(昭和11年)
②父 武二氏(昭和15年)
③学徒出陣の後、海軍に入隊。海軍予備生として最初の配属先の旅順で(昭和19年5月)昭和42年にこの時の同期生達による二水会が発足。今でも熱い交流が続いている。



写真を観れば分かるように桐原さん、奥様ともに、「かお遍歴」はとても良い感じで遍歴されておられます。激動の昭和にあって、戦中・戦後の日本を背負い、希望を持ち懸命に復興させてくれた「かお」がここにいます。

② 明治神宮前で軍事演習。(昭和19年) ⑩ 学徒出陣壮行会で東洋大学経國科の学友達と(昭和19年) ⑪ 経声会(経國科の学友達)屋久島にて(平成初頃) ⑫ 奥様と共に直売店の前で(昭和35年) ⑬ おしどり夫婦ぶりは広告にも掲載される程(平成22年) ⑭ 興に乗るとお得意のダンスを披露 ⑮ 南日本新聞杯ゴルフ大会、ナイスショットでガッツポーズの奥様(平成22年) ⑯ 現在の桐原醸造直売店(平成22年)

～ライター紹介～
春野 洋治郎

一行のチカラ、一文字のチカラを信じて、広告物・出版物の文章執筆を行う。ネット上で一日おきに話材を無償で提供する「1日おきにつづる話のタネ」は、足かけ10年で1600話以上を執筆。小説等の

執筆も行い2010年『日本動物児童文学優秀賞』を受賞。『1日おきにつづる話のタネ』ホームページを運営。下記がアドレス。
<http://www.minc.ne.jp/~hunter/>



岩城 終戦になって家族は一人もいない、家はない、いわば天涯孤獨の身になったわけですが、どうなさったんですか。

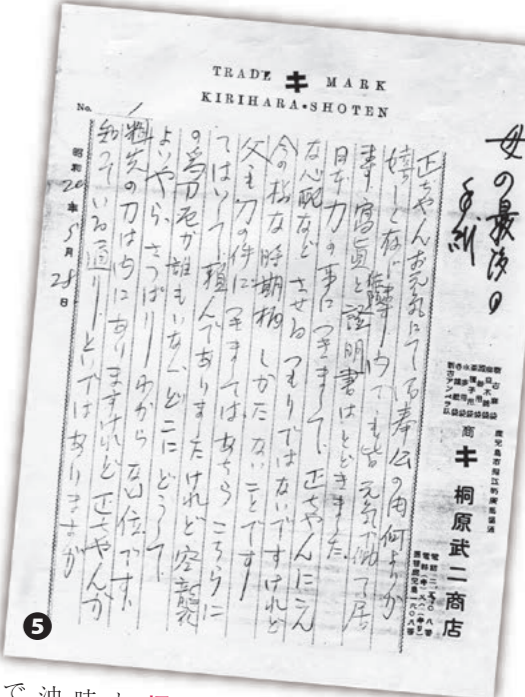
無軌道な時代、そして起業

4人の子どもを分けへだてなく育て、愛情をたっぷりそそいでくれました。いくら感謝しても感謝しきれないですね。



④ 母スエ(昭和11年) ⑤ 母からの最後になった手紙の一部(日付:昭和20年5月28日) 手紙は昭和19年8月から翌年5月28日までの約9ヶ月間に20通あった。

正ちゃん、大元氣にて御奉公の由、何よりか嬉しく存じます。内でも皆大元氣にて働いて居ます。御安心下さい。朝な夕なにみんな、武運強かれと祈つて居ます。写真がときました。本当になつかしいでした。とてもおせらしい姿です。以下略



岩城 やはり、最初のうちはご苦労なさったんですか。

新天地で味噌醤油製造

桐原 それで「桐原正吾醸造店」を起さるわけですが、場所が南薩の加世田ですね。何故、鹿児島市ではなかったのですか。

桐原 私の出身校である鹿児島商業高校の大先輩に、加世田出身の吉峯喜八郎さんがいらつしやいます。この方は加世田で代々続く「丁子屋」という老舗商家の社長さんで、私の身を案じ親身になって相談にのってくださったのです。この方との縁があつて、知人が一人もない加世田の地で創業できたのです。

岩城 ところで当時の大学の仲間とは交流があるのですか?

桐原 経國科の名前をとって経声会という校友の集まりがあります。30年程交流が続いております。また、東洋大学が創立百十周年記念に建立された平和記念碑の除幕式にも参加させていただきました。

岩城 最後にになりましたが、後輩に向けてメッセージをいただけませんか。

学友との絆、そして後輩達へ

桐原 東洋大学は新校舎ができ、箱根駅伝で優勝するなど人気も高く、受験者も格段に多くなったとうかがっています。私の時代に比べれば、勉強しようと思えばどれだけでもできる環境が整っています。ですから、若い世代の方には可能性を信じて、力の限りとおんがらばって欲しいですね。

岩城 醸造業は戦後の時期は統制経済で、だいぶ助かったような気がします。しかし、自由競争の時代になり、商売は二気に競争が激化しました。私はこのままではいけないと小売店に卸すだけでなく、当時では画期的な製造直売及び一般家庭への配達を始めました。配達先は加世田市で二千件程あつたでしょうか。またトラックも購入し、販路を拡大、南薩地区の殆どの小売店に卸販売するまでになりました。妻は従業員と直売店で小売りや配達の注文を受けたりと、夫婦で店の信用を得る為に無我夢中で働きました。

岩城 今、振り返ってみますと創業からあつという間に経つた63年でした。妻をはじめ周りの多くの人たちに支えられてきたから、昭和・平成という時代を歩んで来ることが出来たのだと感謝の気持ちでいっぱいです。

統制が解け、自由競争へ

醸造業は戦後の時期は統制経済で、だいぶ助かったような気がします。しかし、自由競争の時代になり、商売は二気に競争が激化しました。私はこのままではいけないと小売店に卸すだけでなく、当時では画期的な製造直売及び一般家庭への配達を始めました。配達先は加世田市で二千件程あつたでしょうか。またトラックも購入し、販路を拡大、南薩地区の殆どの小売店に卸販売するまでになりました。妻は従業員と直売店で小売りや配達の注文を受けたりと、夫婦で店の信用を得る為に無我夢中で働きました。



⑥ 戦後～高度経済成長期は、桐原さんにとっても桐原醸造の復興期であった。夫婦で懸命の努力の末、親の家業を再興させた。 ⑦ 24才の時オート三輪の免許を取って営業に励んだ。(昭和24年) ⑧ トラックを購入。多くの4斗樽(75kg)を一人で小売店へ卸していた。(昭和35年) ⑨ 加世田中心部に建てた住居を兼ねた桐原醸造直売店。(昭和40年)

1本1本精魂込めて
カネキ醤油・味噌
桐原醸造



<http://www3.ocn.ne.jp/~kiri-hara/>

取締役 会 長 **桐原正吾** (昭和20年 専経国)

桐原醸造

鹿児島県南さつま市加世田唐仁原6166 TEL.0993-53-5123/FAX.0993-52-2621



黒糖サブレ こんがりとん

たしかな品を、よい素材で、誠実に
昭和製菓株式会社

薩摩庵

専務 取締役 **有村貞輝** (昭和38年 経済学部卒)

七ツ島見学工場 昭和製菓薩摩庵

〒891-0132 鹿児島市七ツ島1丁目1番22号
TEL.099-262-2020 FAX.099-262-2100

今井嘉彦 (昭和38年 経済学部卒)

今井製麺所

〒890-0005 鹿児島市下荒田四丁目十一番
電話099-254-3796

産業廃棄物収集運搬・一般貨物・重量物運搬移動・建築骨材販売

有馬運送株式会社

代表取締役 **有馬泰祐** (昭和40年 経済学部卒)

〒891-0131 鹿児島市谷山港3-1-29
TEL.099-261-3311 FAX.099-261-4188

電車・バス・フェリー etc... 交通広告のことなら...

2012年に創立125周年を迎えます。箱根駅伝優勝V3達成成るか

東洋大学

旭プラネット

代表取締役 **岩城 健** (昭和40年 経済学部卒)

〒890-0054 鹿児島市荒田一丁目3番19号 Tel.099-251-3240 Fax.099-251-3227

ヨガインストラクター養成講座・受講生募集中!!

R プラナー ヨガ

やさしいヨガ教室

YOGA インストラクター **野村 涼子** (昭和45年 観光卒)

〒890-0014 鹿児島市草牟田2丁目59-11 Phone 099-226-8340

機械警備・常駐警備・交通誘導警備・輸送警備

東洋警備株式会社

代表取締役 **松下 健一** (昭和47年 法学部卒)

〒890-0046 鹿児島市西田三丁目10番25号
TEL.099-253-7111 FAX.099-253-7155

URL <http://www5.ocn.ne.jp/~toyo-sec/> E-mail: toyo-security@basil.ocn.ne.jp

鹿児島県支部会報 制作担当

グラフィックデザイン **Ducks Field**

代表・制作 **西元 大作** (昭和60年 法学部卒)

パンフレット、名刺、チラシ等の紙媒体広告制作全般 及び写真撮影・ビデオ制作・Web制作

〒890-0012 鹿児島市玉里町6-10-402
Tel & Fax.099-226-8592 E-mail. deesaku@mac.com

吹上温泉 **みどり荘**

細やかな人情と素朴ないで湯情緒に心ゆくまでおひたりください

みどり荘

www.midorisou.com

〒899-3303 鹿児島県日置市吹上町吹上温泉
TEL.099-296-2020 FAX.099-296-4920

代表取締役 **池田日道** (昭和63年 観光卒)

匠の技。

心にしみる伝統の音色、格調高い弦の響きを極限まで追求した中村屋の和楽器。研ぎすまされた匠の技が演奏家の心に響きます.....

和楽器専門店 **中村屋楽器店**

御琴・三味線・太鼓・製造・修理

中村真介 (平成15年 文学部卒)

〒892-0844 鹿児島市山之口町8-41 ☎099-222-4615・222-2719

良質なお湯と人情を守りながら **竹迫温泉**

平瀬 健 (平成19年 経済学部卒)

勤務先/東京ガスライフバル千葉

○営業時間 5:30~22:30 ○毎月16日定休日 ○駐車場完備
鹿児島市下荒田三丁目22-10 (八幡小近く) Tel.099-255-1954

商品写真・建築写真・人物撮影

KAKI STUDIO

フォトグラファー **柿元 誠**

TEL 099-284-7158 / FAX 020-4665-1552
891-0175 鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘5-20-1

書きものがかり

原稿執筆します

情報創造舎ハンター

春野 洋治郎

☎099-222-8035

<http://www.minc.ne.jp/~hunter/>